


- 
- ・決算説明資料
 - ・資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応について
(アップデート)
-

2026年3月期

決算説明資料

決算の概況（経営成績）

連結売上高 **96,037**百万円 前期比 **-3.2%**

連結営業利益 **5,659**百万円 前期比 **67.3%**

連結経常利益 **6,231**百万円 前期比 **62.1%**

**親会社株主に帰属する
当期純利益** **4,350**百万円 前期比 **59.6%**



【連結】損益計算書

(単位：百万円)

	2025/3月期	2026/3月期	前期比増減	2027/3月期 予想
売上高	99,253	96,037	▲3,215	96,000
営業利益	3,382	5,659	2,276	5,400
経常利益	3,843	6,231	2,387	5,900
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,726	4,350	1,624	4,000

【連結】貸借対照表

(単位：百万円)

	2025/3月期	2026/3月期	前期比増減
流動資産	44,767	45,491	723
(主な増減内訳)			
現金預金	13,462	17,005	3,542
電子記録債権	1,121	0	▲1,121
受取手形・完成工事未収入金等	28,791	26,899	▲1,891
未収入金	609	993	383
固定資産	36,120	42,146	6,025
(主な増減内訳)			
有形固定資産	16,827	17,052	225
無形固定資産	324	480	155
投資その他の資産	18,968	24,612	5,644
資産合計	80,887	87,637	6,749

	2025/3月期	2026/3月期	前期比増減
流動負債	25,033	23,700	▲1,332
(主な増減内訳)			
工事未払金等	8,674	7,719	▲955
短期借入金	3,000	0	▲3,000
未払法人税等	606	1,861	1,254
未成工事受入金	9,871	12,269	2,398
固定負債	5,237	6,908	1,670
負債合計	30,271	30,609	337
純資産合計	50,616	57,028	6,411
負債純資産合計	80,887	87,637	6,749

自己資本比率 65.1%

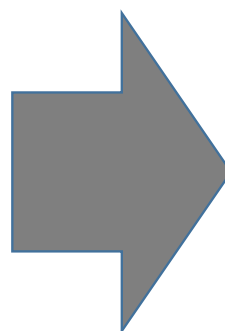
【連結】貸借対照表

(単位：百万円)

2025/3月期
総資産 80,887

2026/3月期
総資産 87,637

流動資産 44,767	流動負債 25,033
	固定負債 5,237
固定資産 36,120	純資産 50,616



流動資産 45,491	流動負債 23,700
	固定負債 6,908
固定資産 42,146	純資産 57,028

【単体】当期の受注高、売上高及び繰越高

(単位：百万円)

区分	前期繰越高	当期受注高	当期売上高	繰越高
建築	101,791	100,185	91,515	110,462
建設事業	1,813	1,210	1,487	1,536
計	103,604	101,396	93,003	111,998
不動産事業等	637	1,633	1,549	721
合計	104,242	103,029	94,552	112,719

当期の主な受注工事

工事名	工事場所
(仮称) 仙台市太白区大野田 1 丁目共同住宅新築工事	宮城県
武蔵野大学武蔵野キャンパス大学図書館建替計画	東京都
東京消防庁第十消防方面訓練場 (7) 新築工事その 2	東京都
旧江戸川 (江戸川四丁目地区) スーパー堤防被覆修景工事その 2	東京都
澁谷工業株式会社 S X 森本工場建設工事	石川県
重要文化財總持寺祖院大祖堂ほか 1 6 棟保存修理事業 仏殿ほか解体格納工事	石川県
ジャストイン太田川駅前新築工事	愛知県
シュゼット西宮浜工場新築工事	兵庫県
福岡大学新本館 (仮称) 新築工事	福岡県
重要文化財今村天主堂ほか 7 基建造物保存修理工事 (第 1 期工事)	福岡県

当期の主な完成工事

工事名	工事場所
(仮称) 仙台市青葉区五橋二丁目マンションプロジェクト新築工事	宮城県
(仮称) 医療法人社団太公会 我孫子東邦病院移転新築工事	千葉県
都立城南職業能力開発センター大田校(5)改築工事	東京都
呑川防潮堤耐震補強工事(その202)	東京都
新潟大学(旭町)ヒト脳科学・ヘルスイノベーションセンター(仮称)新営工事	新潟県
白川町新庁舎建設工事	岐阜県
JA堺市 本所建替工事	大阪府
高野山金剛峯寺奥之院燈籠堂改修工事	和歌山県
(仮称) LOGILAND福岡小郡(北棟)新築工事	福岡県
重要文化財旧長崎英国領事館本館ほか保存修理第2期工事	長崎県

トピックス（サステナビリティへの取り組み）

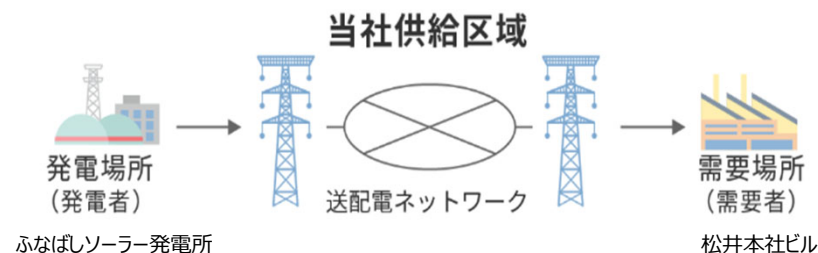
■ 太陽光事業発電事業の推進

自己託送による再生可能エネルギーの活用

当社保有の栄町駐車場（千葉県船橋市）にソーラーカーポートを設置し、発電した電力を本社ビル（東京都中央区）で自家消費する「自己託送」を2026年6月より開始する予定です。



ふなばしソーラー発電所（千葉県船橋市）



概要

- 本社ビルの年間使用電力の20%程度を賄うことが可能で、コスト削減効果も期待できます
- 想定発電量91,577wh/年

当社は今後も、再生可能エネルギーの活用を含む環境負荷の低減に継続的に取り組んでまいります。

トピックス（サステナビリティへの取り組み）

■ 建設現場の脱炭素化を推進

仮設現場事務所で『ZEB Ready』認証を取得

建設現場におけるCO₂排出量削減を目指し、「シュゼット西宮浜工場新築工事」の仮設現場事務所において「ZEB Ready」認証を取得いたしました。これは当社初の試みとなります。今後もサステナビリティへの取り組みを推進してまいります。



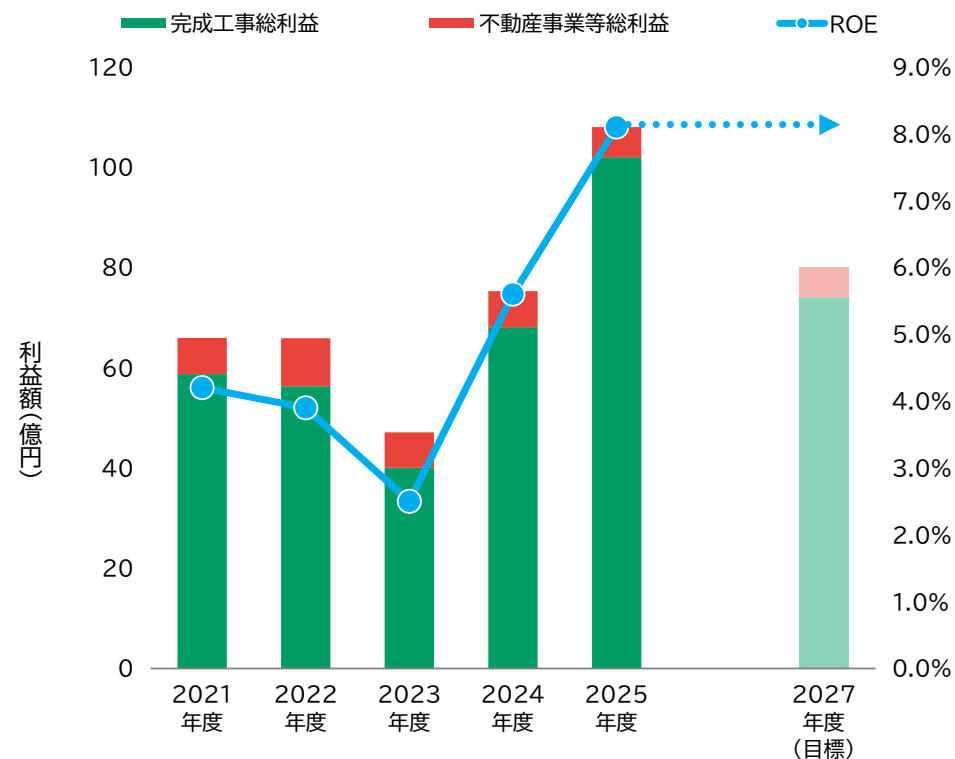
- 外皮に特殊防火断熱パネルを採用
- 1階床および屋根裏天井に断熱材を敷込み
- LED照明と人感センサーの設置による照明負荷の低減
- 高効率空調・換気機器の導入

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について (アップデート)

中期経営計画<2025-2027> 財務資本戦略[1. 基本数値目標(連結)]

	2027年度 目標	2025年度 実績
売上高	990億円	960億円
売上総利益	80億円	108億円
完成工事総利益	74億円	102億円
不動産事業等総利益	6億円	6億円
営業利益	35億円	56億円
当期純利益	30億円	43億円
ROE	6%程度	8.1%
配当性向	50%程度	51.4%

ROE回復イメージ

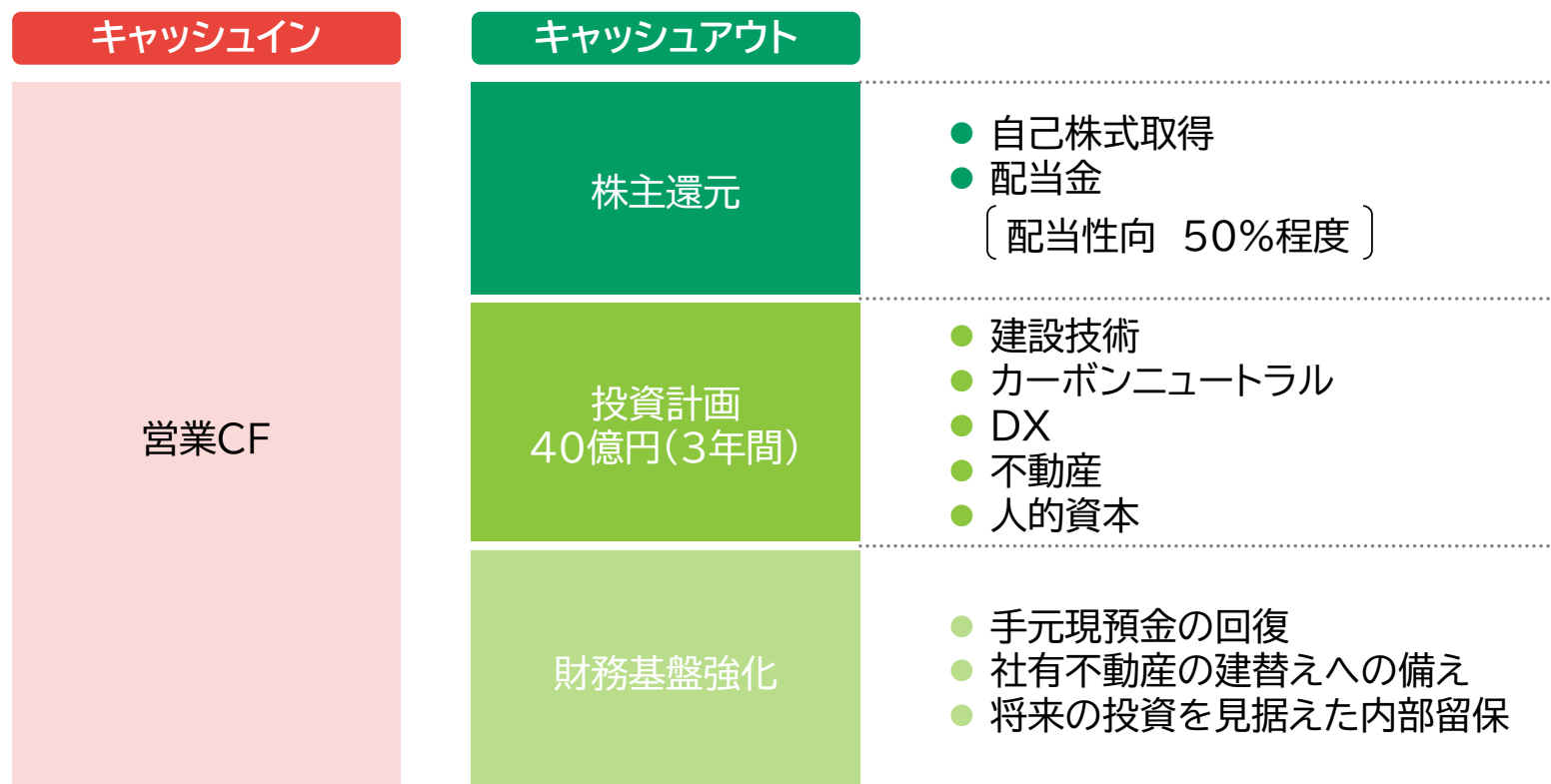


中期経営計画〈2025-2027〉

財務資本戦略[2. 投資計画とキャッシュ・アロケーション]

事業活動を通じて生み出したキャッシュは、継続的な株主還元の実施や投資による事業基盤強化等に活用

2025年度～2027年度



中期経営計画〈2025-2027〉 経営戦略[1. 事業基盤の充実]

経営戦略

事業基盤 の充実

- 高品質の建設物を提供することにより、お客様の満足を得る。
- 収益力を向上させ、適正な利益確保を実現する。
- 社寺建築技術の伝承のため、技術者を育成する。

施策	施策の概要	主な非財務目標
① 収益力	<ul style="list-style-type: none">● 提案力強化と選別受注● 官公庁工事の安定受注● 社寺営業力の強化	社寺営業プロジェクト会議の開催 年4回
② 品質力	<ul style="list-style-type: none">● 施工品質の確保● 顧客満足度の向上	施工管理研修(1年次～5年次) 年25回以上
③ 財務体質	<ul style="list-style-type: none">● 安定したキャッシュ・フローの維持	—
④ 社寺ブランドの確立	<ul style="list-style-type: none">● 社寺建築技術の伝承	社寺技術発表会の開催・『匠』講演会 年1回

中期経営計画<2025-2027> 経営戦略[2. 企業体質の充実]

経営戦略

企業体質 の充実

- 新原価管理システムを定着させる。
- DX推進と人材教育の充実により、生産性の向上を図る。
- 長期的視点から戦略的投資を行う。

施策	施策の概要	主な非財務目標
① 全社員のスキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ● 社員のパフォーマンス向上 ● 営業担当者教育の拡充 	階層別教育の実施 年6回
② 人的資本経営	<ul style="list-style-type: none"> ● 人的資本経営の実践 －モチベーション向上－ 	育児目的休暇の取得 取得率80%以上
③ デジタル・トランス フォーメーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務DXの推進 ● 建設DXの推進 ● BIMの推進 	新基幹システム 施工BIMの活用 2026年度本稼働 100%※
④ 将来を見据えた投資	<ul style="list-style-type: none"> ● DXインフラ・セキュリティ ● 人材の確保・定着 ● 独自技術の開発・展開 ● 社有不動産の運用 	新卒・キャリア採用 年間40名以上

※工事価格3億円以上の作業所

中期経営計画〈2025-2027〉

経営戦略[3. 企業責任の充実]

経営戦略

企業責任 の充実

- 生命、環境を守り、持続可能な社会に貢献する。
- 協働の意識に基づいた公正で透明性の高い行動により、上場会社としての責任を果たす。

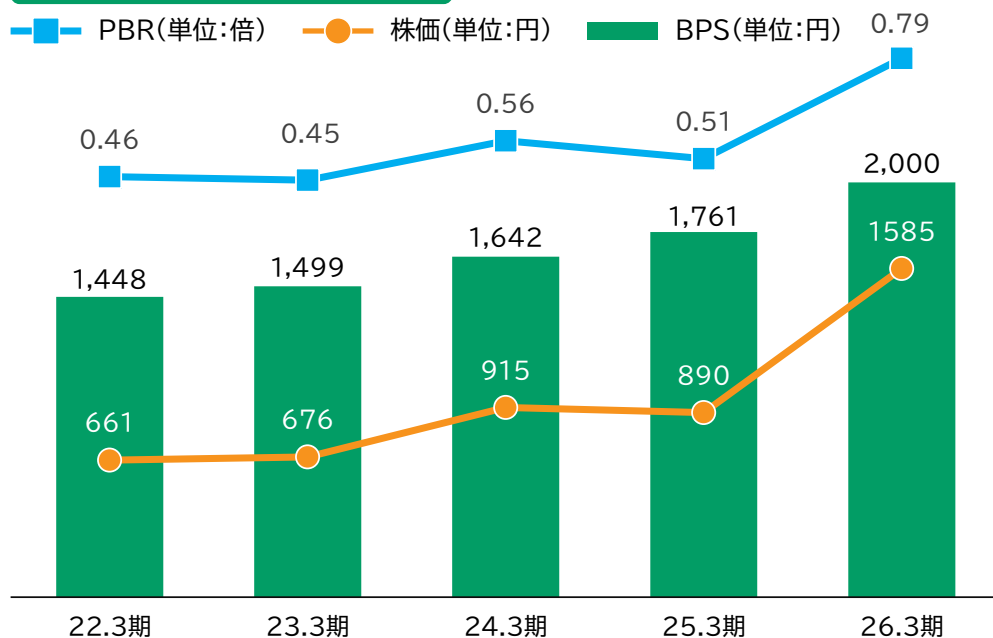
施策	施策の概要	主な非財務目標	
① 労働災害の撲滅	●「言える化 聞ける化」運動の展開	死亡災害 0件	度数率 0.5以下
② 環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> ●カーボンニュートラルに向けた技術の推進 ●カーボンニュートラルに向けた木材の利活用 ●サーキュラーエコノミー(資源循環)の徹底 ●気候変動関連目標達成 	建設副産物 37.0m ³ /億円 以下	事業所廃棄物 33.0t 以下
③ 自然災害対応	●危機管理体制の強化	BCP訓練 年1回	
④ ガバナンス/コンプライアンス	●コンプライアンス意識の徹底	コンプライアンス講習 実施率100%※	
⑤ ステークホルダー対応	●バランスシートの改善	-	

※階層別研修時における講習の実施率

現状分析・評価

- PBRは株価の上昇を受け、一時1.0倍を超えるも期末時点では0.79倍で着地。
- 建設工事費高騰分の価格転嫁が進展、さらなる原価低減に努めたこと等によりROEは当社想定株主資本コストを上回る8.1%に改善。
- 中期経営計画初年度に財務資本戦略の数値目標を概ね達成するも、堅実な経営方針から現在の経済情勢を考慮し、中期経営計画の見直しは2年目の結果を踏まえて検証を行う。

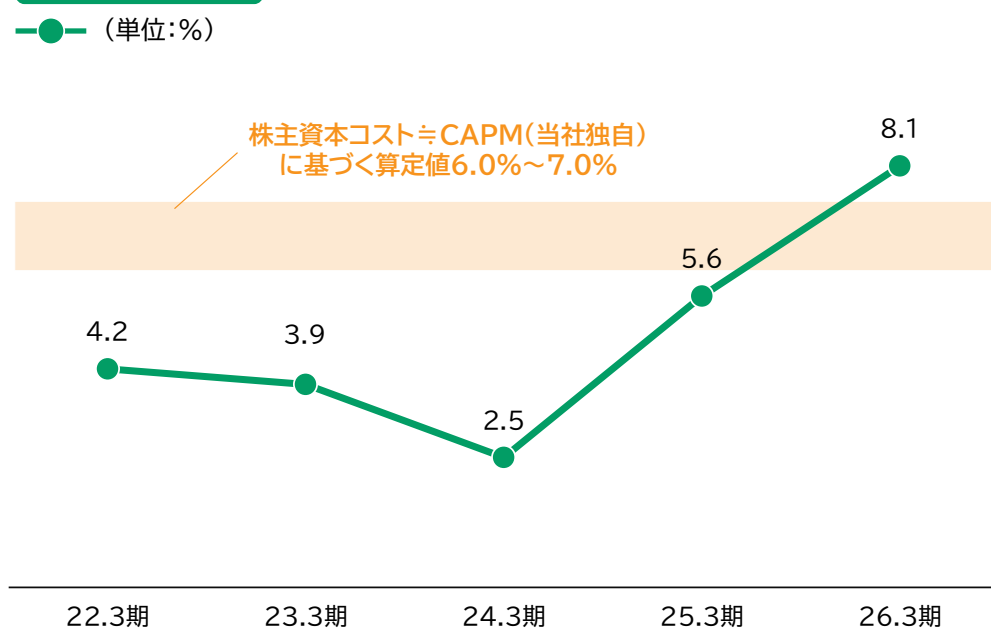
PBR/株価/BPSの推移



PBR=期末株価÷一株当たりの純資産(BPS)

BPS=純資産÷発行済み株式総数

ROEの推移



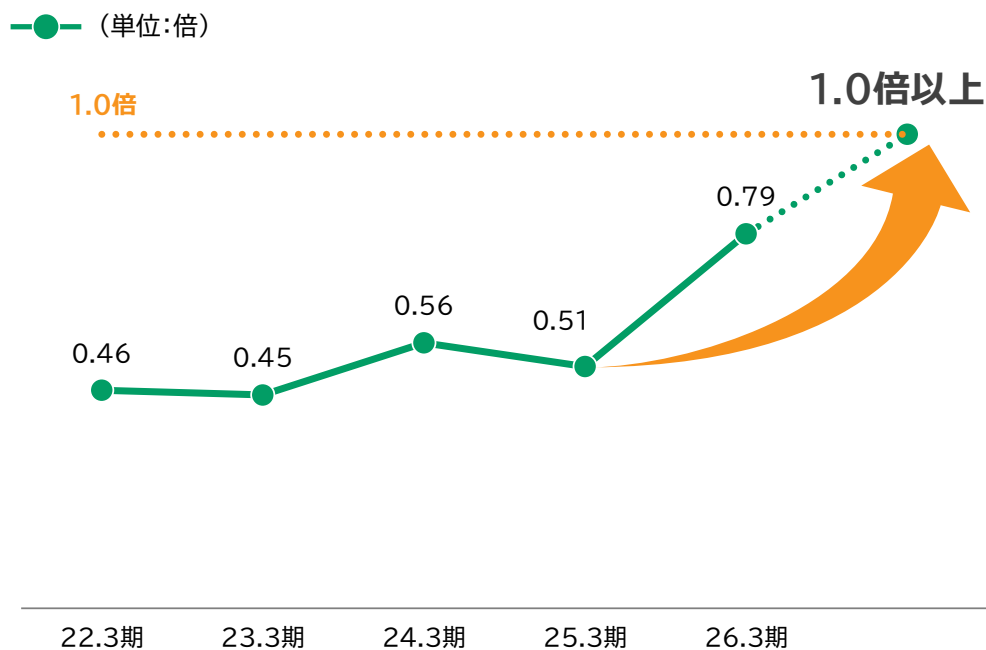
ROE=当期純利益÷純資産(株主資本は期初期末平均)

改善に向けた方針・目標

ROE改善を通じてPBR1.0倍以上達成を図る

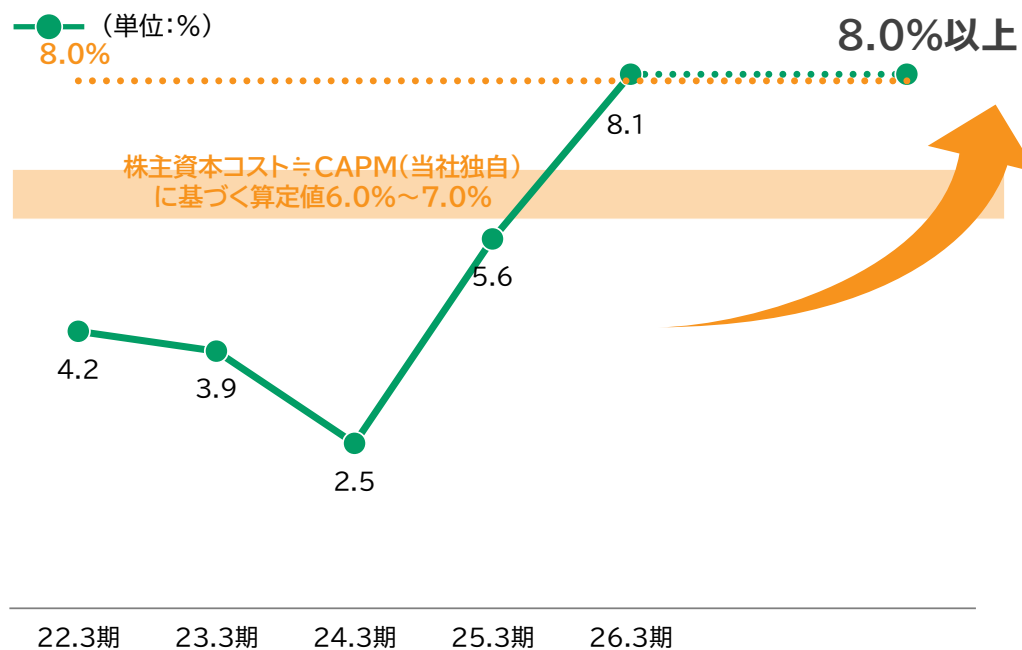
PBRの推移と目標

本業の建設事業で安定的に利益が創出できるよう、あらゆるサプライチェーンとの関係強化を図り、近い将来に1.0倍以上の回復を目指す。



ROEの推移と目標

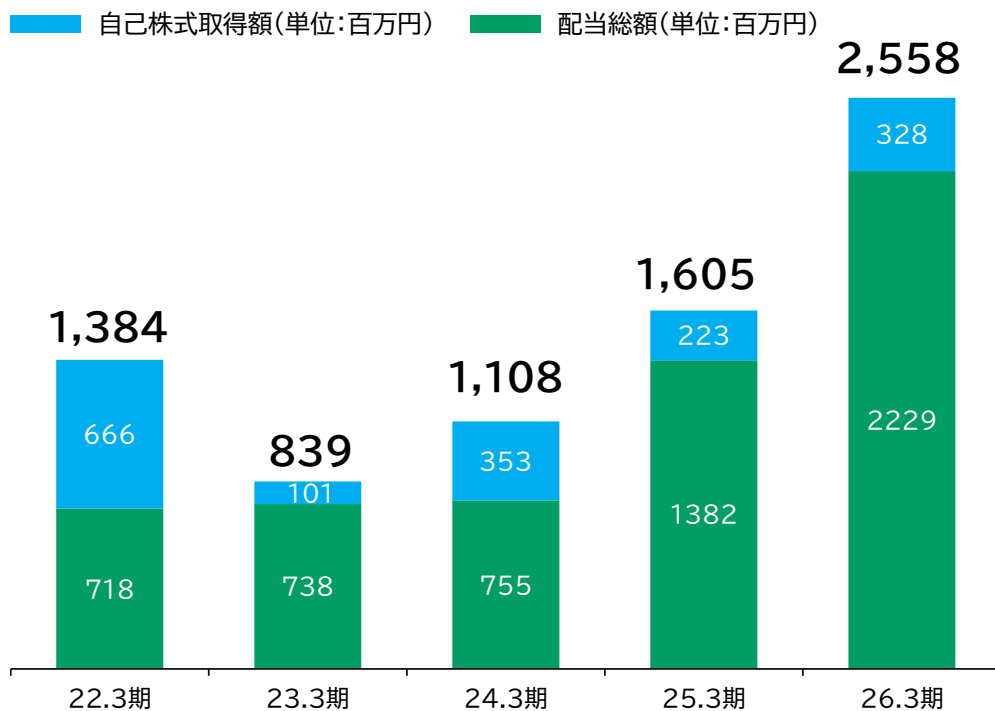
経済情勢の不透明感が顕著となる中、あらゆるサプライチェーンの動向を注視する必要があり、目標とする当期純利益率を確保するとともに更なる向上に努める。ROEは、将来的には8.0%以上を目標とする。



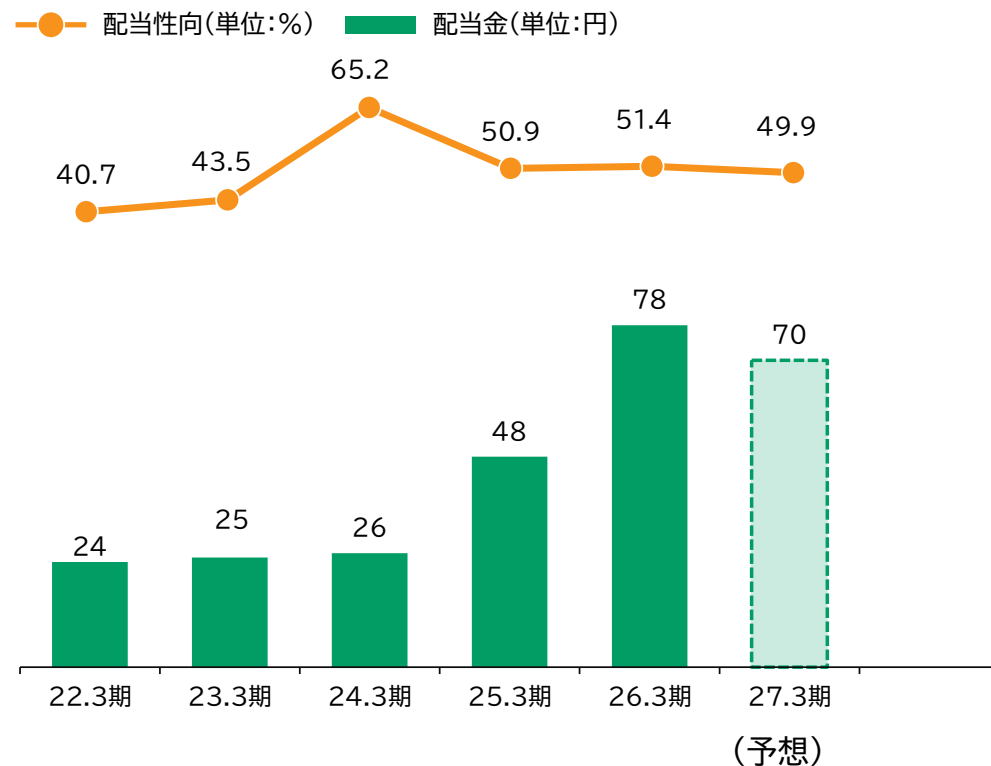
改善に向けた取り組み

- 5期にわたり自己株式取得を実施、株主還元を強化してきた。
- 連結配当性向を50%程度とする。

株主還元の推移



配当性向及び配当金の推移





ご注意事項

本資料に記載されているデータや業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。